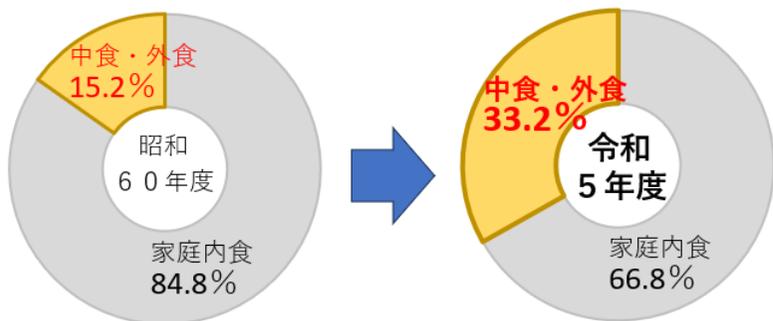


中食・外食需要への対応（低コスト多収米の産地形成）

- 共働き世帯の増加などのライフスタイルの変化に伴い、主食用米の需要に占める中食・外食向けの割合は年々増加。マーケットインの視点から、中食・外食事業者の多様なニーズへの対応（低コスト多収米など）が必要。
- これを踏まえ、農業者、種子生産者、卸及び販売業者、中食・外食事業者といった関係者が連携し、低コスト多収米等の産地を形成し安定供給体制の構築を図るため、情報提供、ネットワーキングのためのWebサイト構築やイベント開催に取り組んでいるところ。（事業名：「業務用米、新市場開拓用米等の安定取引拡大支援（業務用米等に係る商談会等の開催の取組）」）

《現状》

- ・ 主食用米の需要に占める中食・外食向けの割合は年々増加
- ・ マーケットインの視点から、中食・外食事業者の多様なニーズに合った米の供給の確保が必要

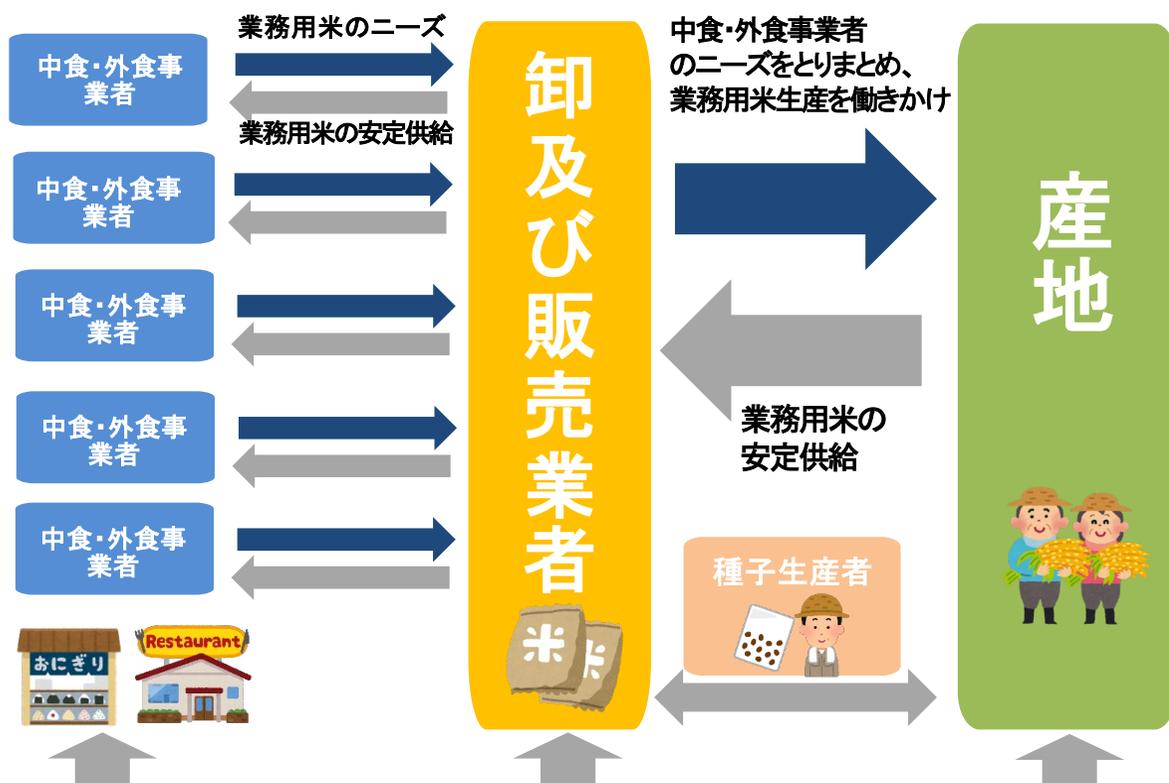


資料：農林水産省「米の1人1ヶ月当たり消費量」（昭和60年度）
米穀機構「米の消費動向調査」（令和5年度）

《多様なニーズへの対応》

- ・ 多収性品種の活用や直播栽培等、米生産の低コスト化の推進
- ・ 複数年契約や播種前契約の推進等、産地と中食・外食事業者との長期・安定的な結びつきの推進

《低コスト多収米の産地形成》



事業での取組

- 情報提供（多収米の品種・栽培技術、低コスト生産の経営モデル、書面契約のノウハウ等）
- ネットワーキングのためのWebサイト構築、イベント開催